

日本子ども社会学会
第30回大会 プログラム

2024年6月29日（土）・6月30日（日）



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

日本子ども社会学会 第30回大会 プログラム

1. 開催日

2024年6月29日(土)・30日(日)

2. 会場

日本女子大学 目白キャンパス(東京都文京区目白台2丁目8-1)

(6月29日・30日の両日とも対面で開催)

3. 日程

【前日 6月28日(金)】

16時30分～17時30分 評議員会(新泉山館2階 会議室1)

17時30分～19時30分 理事会(新泉山館2階 会議室2)

【1日目 6月29日(土)】

9時30分～12時00分 受付(新泉山館1階)

*** 初日の午前中はクロークを設けません**

12時30分～18時00分 受付(百二十年館1階 12101教室)

クローク(百二十年館1階 12102教室)

10時20分～12時00分 大会実行委員会企画公開シンポジウム(新泉山館1階 会議室)

10時20分～12時00分 研究発表Ⅰ(新泉山館2階 新泉201教室、会議室)

12時10分～13時00分 総会及び学会賞授賞式(新泉山館1階 大会議室)

13時00分～14時00分 昼食

14時00分～15時30分 研究交流委員会企画ワークショップ

(百二十年館B1階 12001教室)

15時40分～17時45分 研究発表Ⅱ(百二十年館B1階 各教室)

【2日目 6月30日(日)】

9時30分～ 18時00分 受付(百二十年館1階 12101教室)

クローク(百二十年館1階 12102教室)

10時00分～ 12時00分 研究発表Ⅲ(百二十年館B1階 各教室)

12時00分～ 13時30分 昼食

12時00分～ 13時30分 各種委員会(百二十年館1階 各教室)

12時00分～ 13時30分 ポスター発表

(百二十年館B1階 ラーニングコモンズかえで)

13時30分～ 15時10分 研究交流委員会企画30周年記念テーマセッション

(百二十年館B1階 12001教室)

15時25分～ 17時45分 ラウンドテーブル(百二十年館B1階 12008教室、12009教室)

4. 大会参加申し込み(事前申し込み)・大会参加費

Peatix で参加申込(チケット購入)をしカード決済やコンビニ払いを利用した場合は、支払った日の日付で領収書が発行されます。

そのため、2024年度(2024年4月1日以降)の研究費での支払いをお考えの方は参加申込(チケット購入)を4月1日以降に行ってください。なお、【当日支払】で参加申込(チケット購入)を行うまたは大会当日に会場受付において現金で支払う予定の方は、領収書は受付日の日付で発行いたします。

※ Peatix の【当日支払】欄には「無料」という文字が出ておりますが、これは事前申込の際の支払いは無料ということで、大会当日には¥4,000 または¥2,000 の参加費を現金でお支払い頂くこととなります。

(1) 「大会参加申し込み」から事前に参加申し込みを行ってください。

事前申し込みの場合は Peatix でカード決済またはコンビニ決済をお選び頂けます。事前の参加申し込みがなされていない場合は、会場にて参加費を現金でお支払いいただきます。

なお、おつりのないように千円札のご準備をお願い致します。

事前参加申し込み期間:2024年2月1日(木)～6月15日(土)

※ 非会員の方も臨時(当日)会員としての参加申し込みができます。

(2) 大会参加に加えて、発表申し込み(筆頭発表者として発表できるのは口頭またはポスターのいずれか1つ)、ラウンドテーブルの企画申し込みを行う方は大会HPに掲載の申込フォームへのご記入をお願いいたします。

発表申込期間およびラウンドテーブル企画申込期間

:2024年2月1日(木)～3月15日(金)

(3) 大会参加費

事前申し込みを行った上で、大会参加費をお支払い下さい。事前申込分については Peatix を活用したクレジットカード払い、コンビニ払いを導入しました。

事前申込をせず当日参加される方は、大会参加費を受付にて現金でお支払いください。

一般会員	: 4,000 円
一般会員(年収 300 万円以下)	: 2,000 円
臨時(当日)会員	: 4,000 円
臨時(当日)会員(年収 300 万円以下)	: 2,000 円

5. 懇親会 - 開催いたしません

6. 発表時間

個人発表: 発表 20 分・質疑応答 5 分

共同発表: 発表 40 分・質疑応答 10 分

(ただし、発表者が1名の場合は、個人発表に準じます。)

7. 発表取り消し

発表の取り消し、および発表日時の変更は原則として認めていません。

発表の取り消しの場合は、早急にお知らせください。

8. 当日配布資料

レジュメ等の発表資料を配布される場合は、30 部以上ご用意ください。

大会会場でのコピーはできません。

9. 発表に際しての注意

発表の際、プロジェクターは各部屋に備え付けてあります。

パソコンについては、ご自身のものをご準備ください。

10. 受付・クローク

大会にご参加される方々には、事前申込、当日参加申込、いずれの場合でも、当日受付にて参加証と領収書をお渡しいたします。**大会に参加される方は必ず受付にお立ち寄りください。**

なお、参加証は名刺サイズのものとなっております。各自、**参加証を入れるためのネームフォルダーをご持参ください。**

大会 1 日目(6/29・土)の午後(12 時 30 分～18 時)および大会 2 日目(6/30・日)の終日(9 時 30 分～18 時)は、百二十年館 1 階 12002 教室で荷物をお預かりします。

大会 1 日目(6/29・土)の午前はクロークを設けません

11. 会員控室

【1 日目 6 月 29 日(土)】

午前は会員控室を設けません

12 時 30 分～17 時 45 分 百二十年館B1 階 12013 教室

【2 日目 6 月 30 日(日)】

9 時 30 分～17 時 45 分 百二十年館B1 階 12013 教室

(抜刷・資料交換コーナーも同じ部屋に設ける予定です)

12. 書籍展示・販売 百二十年館B1 階 12015 教室

【1 日目 6 月 29 日(土)】 13 時 30 分～17 時

【2 日目 6 月 30 日(日)】 9 時 30 分～17 時

13. 昼食

会場近くには食事をする場所が多くありません。コンビニも近くにはあまりありませんので、各自昼食をご用意ください。昼食は控室、ラーニングコモンズかえでで食べられるようにする予定です。昼食のゴミは、各自お持ち帰りください。

14. 大会本部

百二十年館 B1 階 12007 教室

15. 大会実行委員会連絡先

日本子ども社会学会第 30 回大会実行委員会

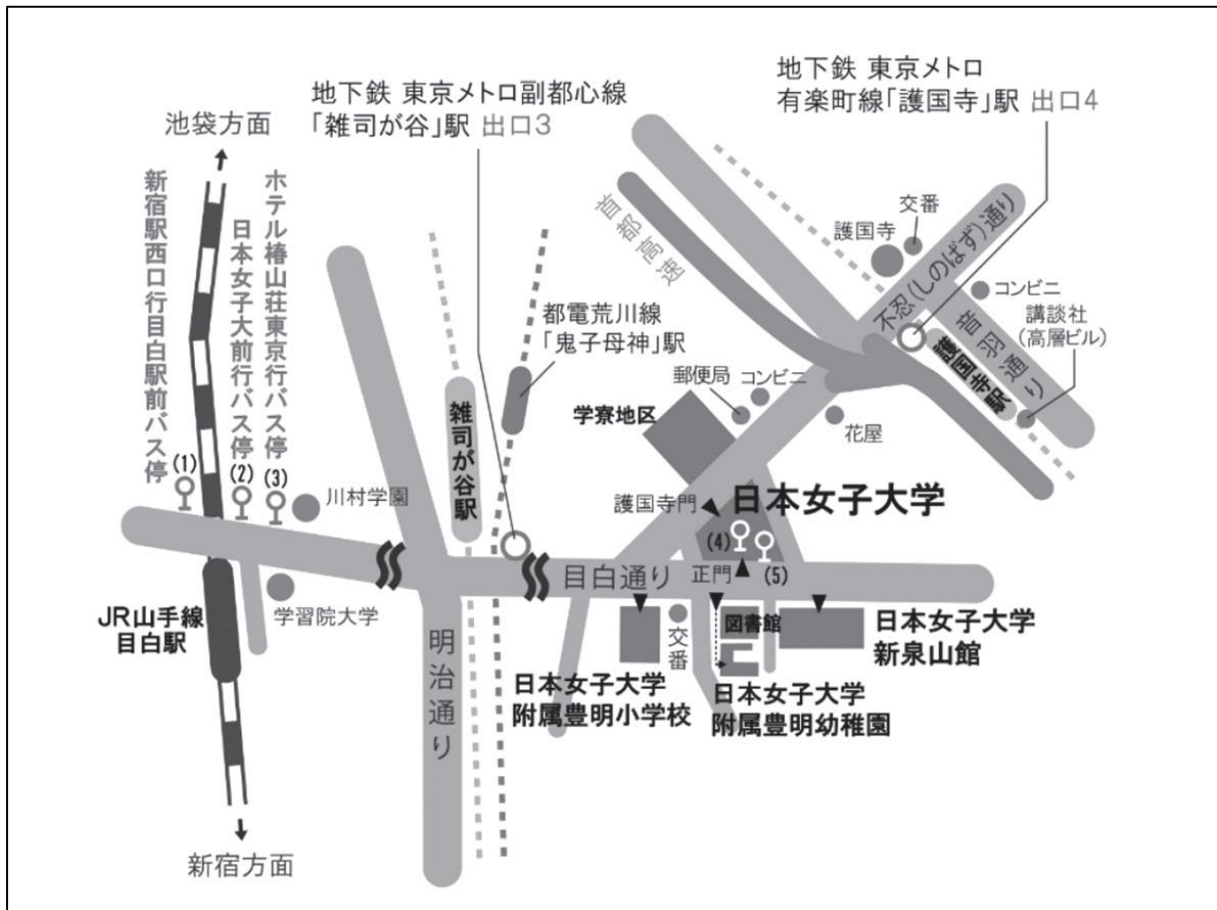
E-mail: kosh30tokyo@gmail.com

大会当日(6 月 29 日, 30 日) 緊急電話連絡先

090-2815-8084

日本女子大学目白キャンパスへのアクセス

【最寄駅からのアクセス】



<JR「目白駅」> 徒歩 15 分、バス約 5 分(バス停の位置は地図画像を参照)

- 【都営バス(学 05)】日本女子大学前行(直行) ← 日曜日は運行なし
乗車「目白駅前」バス停(2)、下車「日本女子大前」バス停(4)
- 【都営バス(白 61)】新宿駅西口行き、またはホテル椿山荘東京行き
乗車「目白駅前」バス停(1)(3)、下車「日本女子大前」バス停(5)

<東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」>(3番出口)から 徒歩 8 分

<東京メトロ有楽町線「護国寺駅」>(4番出口)から 徒歩 10 分

<羽田空港>

羽田空港 → 目白駅 → 日本女子大学 約 1 時間 15 分(電車を利用の場合)

<新幹線駅>

品川駅 → 目白駅 → 日本女子大学 約 45 分(JR 山手線を利用)

東京駅 → 目白駅 → 日本女子大学 約 45 分(同上)

東京駅 → 池袋駅 → 雑司が谷駅 → 日本女子大学 約 35 分

(東京メトロ丸の内線、副都心線を利用)

大宮駅 → 池袋駅 → 目白駅 → 日本女子大学 約 60 分

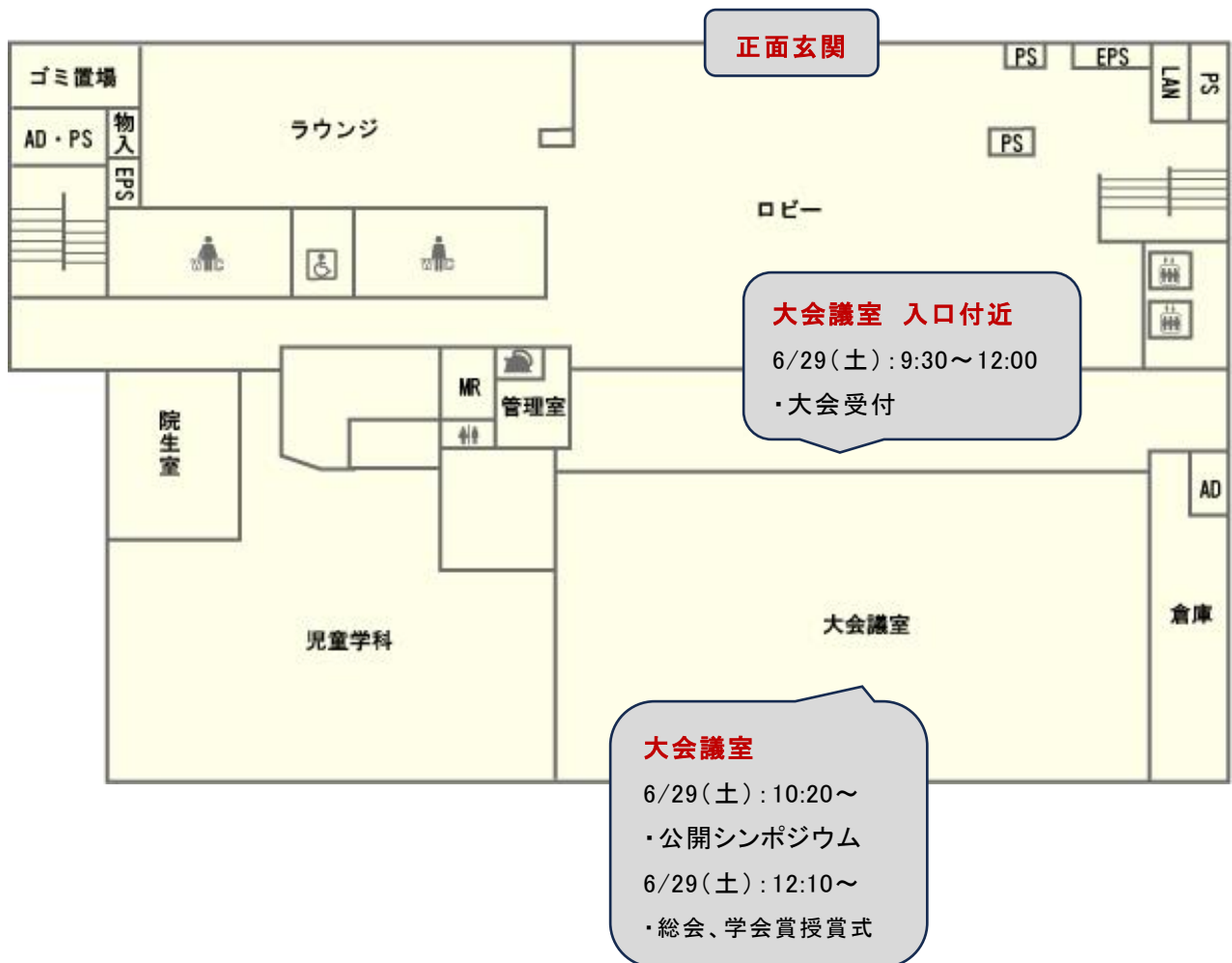
(JR 湘南新宿ラインまたは埼京線および山手線を利用)

会場マップ



- 大会前日 評議員会・理事会 : 新泉山館 2階
- 大会1日目 午前 : 新泉山館 1階および2階
- 大会1日目午後及び大会2日目 主会場 : 百二十年館 B1階
 受付・クローク : 百二十年館 1階

新泉山館 1 F

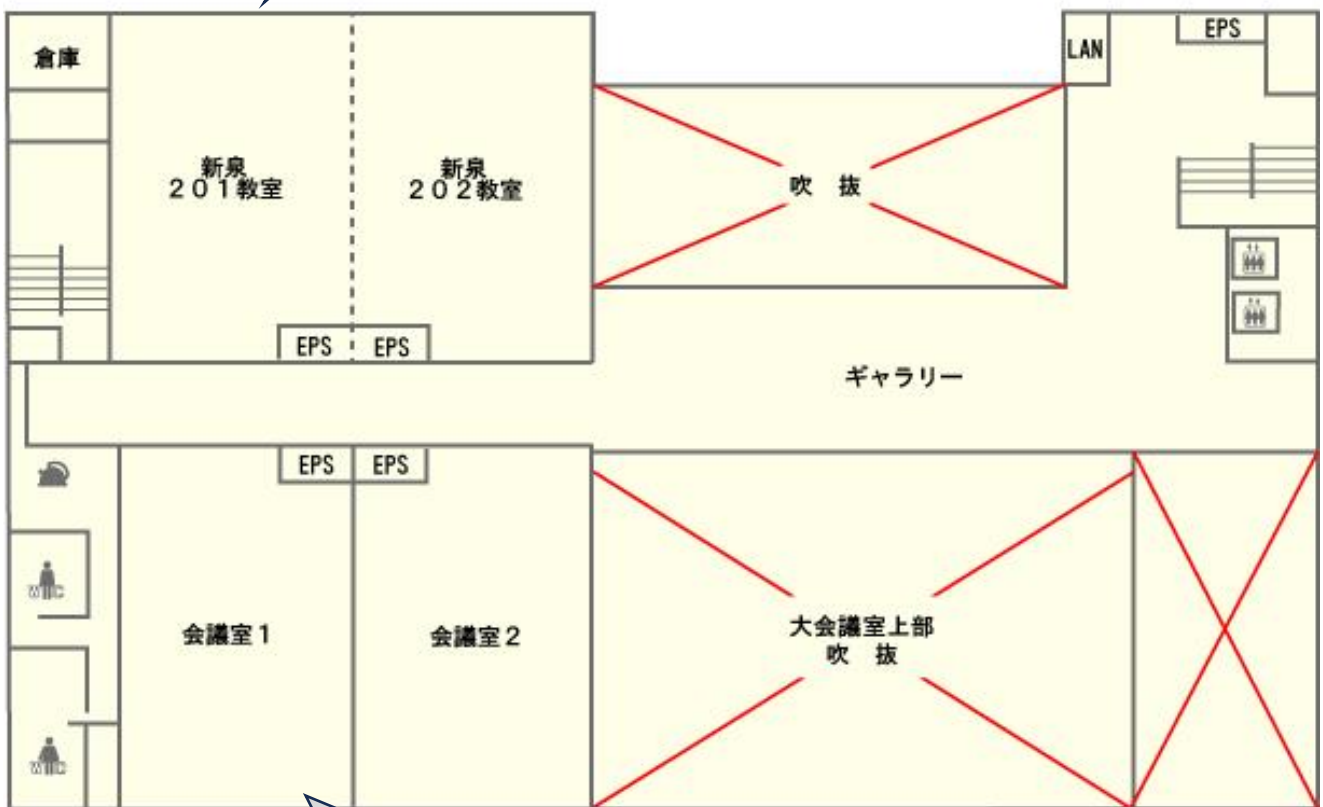


新泉山館 2F

新泉 201 教室

6/29(土) : 10:20~12:00

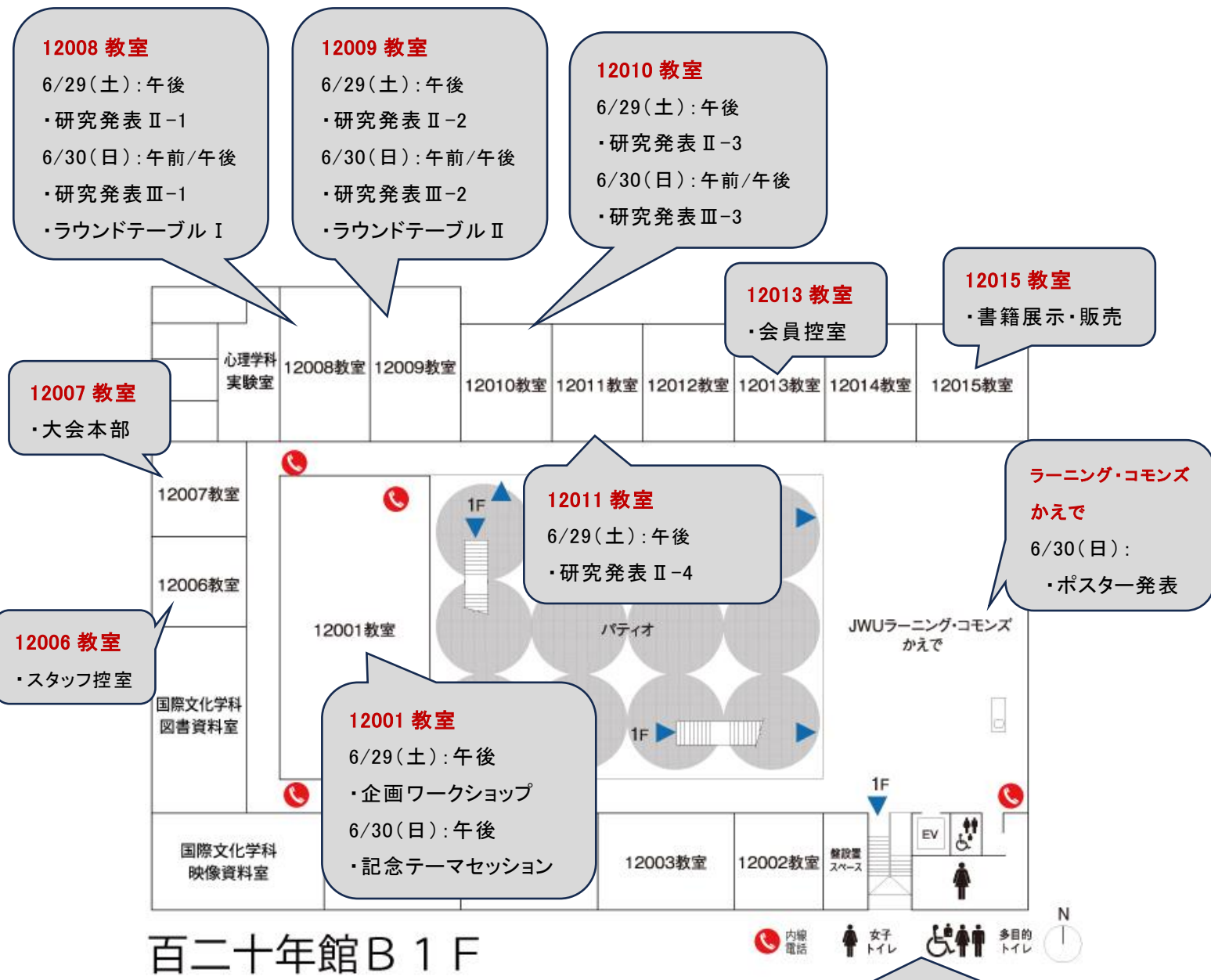
・研究発表 I-1



会議室 1

6/29(土) : 10:20~12:00

・研究発表 I-2



百二十年館B 1F

* B1階のトイレは本来女性用ですが、学会期間中は男性用トイレとします。
女性は1階のトイレをお使いください。
なお、隣にある百年館高層棟のトイレについても、男女共に使用できるようにしております。

6/30(日) : 12:00~13:30

12108 教室

・紀要編集委員会

12107 教室

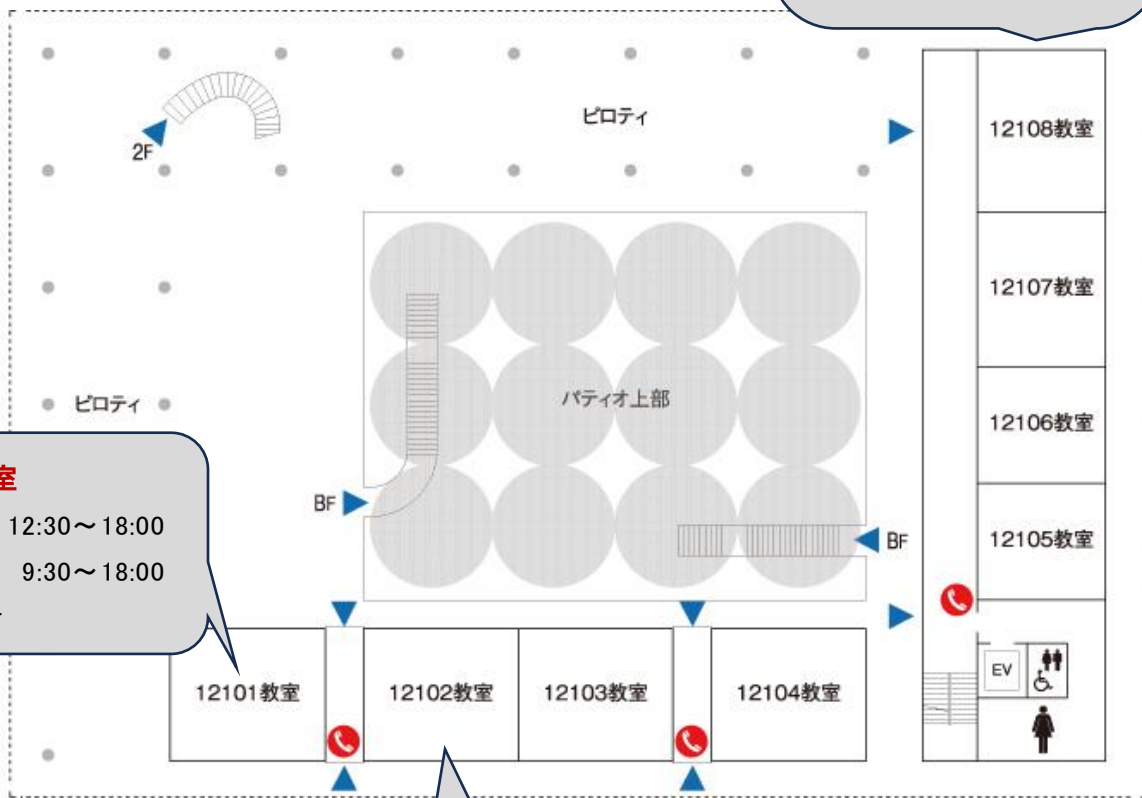
・研究交流委員会

12106 教室

・共同研究事業委員会

12105 教室

・学会賞選考委員会



12101 教室

6/29(土) : 12:30~18:00

6/30(日) : 9:30~18:00

・大会受付

百二十年館 1 F

12101 教室

6/29(土) : 12:30~18:00

6/30(日) : 9:30~18:00

・クローク

6/30(日) : 12:00~13:30

12104 教室

・広報・メディア委員会

**子どもの「居場所」は誰が決める？
—こどもまんなか社会における教育の「義務」と「権利」—**

シンポジスト： 西野博之 氏(認定 NPO 法人 フリースペースたまりば 理事長)
 工藤 啓 氏(認定 NPO 法人 育て上げネット 理事長)
指定討論者： 林 浩康 氏(日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授)
企画・司会： 加藤直子(立正大学社会福祉学部子ども教育福祉学科特任講師)

【企画趣旨】

日本国憲法 26 条 1 項、2 項には、学校に行くことは子どもの権利であり、行かせることは保護者の義務であると明記されている。しかしながら、この教育の「義務」と「権利」について、その主体たる子どもの思いや状況からかけ離れたところで議論されている感は否めない。子どもにとっての真の居場所とはどのような場所なのか、そして居場所を選択するのは誰なのだろうか。

近年、いわゆるオルタナティブ教育を行う学校の設立が著しい。子ども達が、親が、社会がこれまでの日本の画一的な教育制度に異を唱え始めてから久しいが、従来の学校との共存を探りつつ、学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の設立に見るように、ようやく新しい学校のあり方やそのシステムを形作る方法が確立されつつあるからではないか。不登校の子どもたちや、行き場のない青少年、所属感を得ることができないまま成長した人々、こうした子ども達やかつて子どもであった人々が自分らしくあるための、真の居場所を当事者と共にデザインしていくことが現代社会に求められているのだろう。

こうした背景から、これまでの制度にとらわれず、子どもの真の居場所づくりを模索し続け、神奈川県川崎市子どもの権利条例策定に携わり、それを具現化した「川崎市子ども夢パーク」アドバイザーである西野博之氏、すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会の実現に向け、若者支援、保護者支援、学習支援、学校教育支援などの活動を行っている工藤啓氏に話題提供していただく。さらに、意思決定過程への当事者参画、子ども家庭支援を専門とされる日本女子大学林浩康教授を指定討論者に迎え、子どもの居場所のあり方とこどもまんなか社会における教育の「義務」と「権利」について考え、それを支えるための社会的ネットワークを構築する方法について各方面から活発に議論したい。

(大会実行委員:加藤直子)

研究発表 I

2024 年 6 月 29 日(土)10 時 20 分～12 時 00 分
新泉山館 2 階 新泉 201 教室

I-1 【 子どもと文化 】

司会 細辻 恵子(甲南女子大学)

10 時 20 分～10 時 45 分

初期ラジオ放送における口演童話家の活躍—安倍季雄を中心に—

中村 美和子(お茶の水女子大学)

10 時 45 分～11 時 10 分

戦前期日本の少女雑誌における身の上相談と読者意識

田中 卓也(育英大学)

11 時 10 分～11 時 35 分

蓮如上人の子守唄「優女」と中世芸能—子ども関与の文化の歴史地理的考察—

鵜野 祐介(立命館大学)

11 時 35 分～12 時 00 分

総括討論

研究発表 I

2024 年 6 月 29 日(土)10 時 20 分～12 時 00 分
新泉山館 2 階 会議室 1

I-2 【 子どもと学び・教育 】

司会 山田 浩之(広島大学)

10 時 20 分～10 時 45 分

読書量の多寡がその後の自己認識に及ぼす影響－調査データからの考察－

腰越 滋(東京学芸大学)

10 時 45 分～11 時 10 分

人口減少社会における高校教育の再編計画に関する基礎的検討

上地 香杜(静岡大学)

11 時 10 分～11 時 35 分

学習時間と成績の関連は線形か非線形か

大久保 心(立教大学)

11 時 35 分～12 時 00 分

総括討論

**多世代参加型ワークショップ：研究者のワーク・ライフ・バランス
～子どもに関わることに注目して～**

企画担当者： 田村 恵美(東京家政大学)

山瀬 範子(國學院大學)

話題提供者： 多賀 太(関西大学)

※話題提供後、ワークショップとなります

【企画趣旨】

平成19年12月、「官民トップ会議」が策定した「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」では、「誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、今こそ、社会全体で仕事と生活の双方の調和の実現を希求していかなければならない。」という。研究者である私たちもワーク・ライフ・バランスにかかる悩みや不安、心配事に直面することが少なくない。研究、教育、校務などのワークを充実させたい一方で、婚活、妊活、子育て、孫育て、家族の介護や療養といったライフにもしっかりと関わりたいと考えている人は多いのではないかと。本企画では、特にライフの中でも特に子どもに関わることに注目したい。研究者にとって、大学・大学院を卒業し就職活動に関わる時期と子どもを持つことを意識したり、親になり、子育てが始まる時期が重なったり近接したりすることは少なくない。また、研究者としての一定のキャリアを得てから妊活に取り組んだり、親になったりする人もいる。自身の子育てを終えた後、孫育てと仕事の両立を図る人もいる。子どもを産み、育てるための様々な制度が整えられてきた一方、制度により研究活動に制限が加えられることもある。本ワークショップでは、若手からベテラン世代まで、様々な世代がワークショップを通じて交流する中で、「子ども」をキーワードとしてワーク・ライフ・バランスに係る思いや悩み、もやっとしていたことなどを出しあい、どのような理解やサポートが必要なのかを考える契機としたい。また、それぞれの参加者がワーク・ライフ・バランスの実現のために、日々の営みのなかで直面している困ったことへのヒントを得る場所にもしたい。様々な世代の会員に気軽に参加していただき、研究交流をはかるワークショップであるため、多くの会員の参加を期待する。

研究発表Ⅱ

2024年6月29日(土)15時45分～17時25分
百二十年館B1階 12008教室

Ⅱ-1 【 海外の保育・子育て 】

司会 保木井 啓史(福島大学)

15時45分～16時10分

家族的ケアは『どのように』良いのか？
— ルーマニア孤児の民族誌から考える家族的環境の実践と応用 —

浅田 直規(筑波大学人文社会科学研究科)

16時10分～16時35分

保育における環境教育についての一考察
： スウェーデンの就学前学校での自然活動体験を基に

土橋 久美子(白百合女子大学)

16時35分～17時00分

ノルウェーの自然幼稚園における幼児のジェンダー意識に関する研究

松田 こずえ(武蔵野大学教育学部)

17時00分～17時25分

総括討論

研究発表Ⅱ

2024年6月29日(土)15時45分～17時45分
百二十年館B1階 12009教室

Ⅱ-2 【 子どもと福祉 】

司会 高橋 靖幸(新潟県立大学)

15時45分～16時10分

児童館プログラムの実施割合の実態把握

門倉 洋輔(小田原短期大学)

16時10分～16時35分

児童養護施設における児童相談所との連携の諸相

山口 季音(至誠館大学)

16時35分～17時00分

居場所施設ボランティアによる話しかけ場面の分析
: <呼びかけ-応答>連鎖に着目して

執行 治平(東京大学大学院)

17時00分～17時25分

児童養護施設退所者の家族形成
- 恋愛・結婚における選択と定位家族への語りに着目して -

西林 佳人(関西大学大学院社会学研究科)

17時25分～17時45分

総括討論

研究発表Ⅱ

2024年6月29日(土)15時45分～17時45分
百二十年館B1階 12010教室

Ⅱ-3 【 子どもを取り巻く環境 】

司会 田中 理絵(西南学院大学)

15時45分～16時10分

個別学習支援における子どもからの援助の求め

柳川瀬 真衣(関西学院大学)

16時10分～16時35分

自己肯定感スコアからみた子供・若者の学校外社会生活の現状
—『子供・若者総合調査』プレ調査の結果から—

古賀 正義(子供若者支援研究所)

16時35分～17時00分

入学者選抜の方法によって測定する資質はどう異なるか
:JLSCP(親子パネル調査)を用いた検討

木村 治生(ベネッセ教育総合研究所)

17時00分～17時25分

子どもを取り巻く社会環境(資源)の開発と幼児教育施設経営
—小規模保育事業の事例分析—

田中 謙(日本大学)

17時25分～17時45分

総括討論

研究発表Ⅱ

2024年6月29日(土)15時45分～17時45分
百二十年館B1階 12011教室

Ⅱ-4 【 子ども論 】

司会 香川 七海(日本大学)

15時45分～16時10分

ハーバート・リードの教育思想におけるプラトン哲学の位置

由良 知彦(元・京都市立中学校美術科教諭)

16時10分～16時35分

子ども研究における心理・精神をめぐる言説(2)

池田 隆英(岡山県立大学)

16時35分～17時00分

演じる行為にみる「子ども文化」

:岩田慶治の子どものコスモロジー論を手がかりに

上林 梓(大阪大学)

17時00分～17時25分

不安定な相互作用からいかに話し合いの規範が立ち上がるか

—生徒たちの自主活動におけるフィールドワークデータの相互行為分析—

大西 未希(駿河台大学情報処理教育センター)

17時00分～17時45分

総括討論

研究発表Ⅲ

2024年6月30日(日)10時00分～12時00分
百二十年館B1階 12008教室

Ⅲ-1 【 子どもと地域・家庭 】

司会 高橋 均(北海道教育大学)

10時00分～10時25分

中国系家庭における親子葛藤に関する先行研究の現状
— 中国国内と日本国内の動向比較 —

○ 郝 紅竹(大阪公立大学大学院)
吉田 直哉(大阪公立大学)

10時25分～10時50分

把握されない子どもたち—散在地域の外国につながる子ども

吉田 美穂(弘前大学)

10時50分～11時15分

資格課程における女子学生の「進路変更」経験
— 母と娘の特殊な関係性に着目して —

金弘 実久(広島大学大学院)

11時15分～12時00分

総括討論

研究発表Ⅲ

2024年6月30日(日)10時00分～12時00分
百二十年館B1階 12009教室

Ⅲ-2 【 職としての保育者 】

司会 結城 孝治(國學院大学)

10時00分～10時25分

保育者の職の継続(Ⅷ)

—異動をめぐる葛藤とその克服に着目して—

中井 雅子(元・十文字学園女子大学)

10時25分～10時50分

すべての子どもに平等かつ順番に当番活動を課す日本の保育者の葛藤

- 加藤 望(名古屋学芸大学)
- 肥田 武(一宮研伸大学)
- 中坪 史典(広島大学大学院)

10時50分～11時20分

総括討論

研究発表Ⅲ

2024年6月30日(日)10時00分～11時20分
百二十年館B1階 12010教室

Ⅲ-3 【 職業観 】

司会 多賀 太(関西大学)

10時00分～10時25分

医療的ケア児保育における看護職との連携に関する考察

二宮 祐子(文教大学)

10時25分～10時50分

工業系女子が語るブルーカラー労働

尾川 満宏(広島大学)

10時50分～11時20分

総括討論

ポスター発表

(在籍責任時間)2024年6月30日(日)12時00分～13時30分
百二十年館B1階 ラーニングcommonsかえで

司会・進行 境 愛一郎(共立女子大学)

① 幼稚園5歳児の「転がし遊び」にみる試行錯誤の様相:4歳児との比較を中心に

松原 未季(大阪信愛学院大学)

② 沖縄の子どもたちの学力と教職員の病休率の関連性

西本 裕輝(琉球大学)

③ 男性保育士の初期キャリアにおけるリアリティ・ショックと専門的成長

～管理職が考える保育士に必要な資質項目についてのインタビューから～

吉田 貴子(大阪国際大学短期大学部)

山口 真希(花園大学)

④ 園を辞めたが保育を辞めなかった保育士から探るやりがい

—離職を経験した3年目保育士の語りから—

高口 知浩(純真短期大学)

伊勢 慎(福岡県立大学)

井手 裕子(東亜大学)

研究交流委員会 30周年企画

多様な「子ども」への視角

— 子ども社会研究における対話の可能性を探る —

【登壇者】

茶谷 智之氏(兵庫教育大学 子ども家庭福祉、南アジア地域研究)
古殿 真大氏(名古屋大学大学院(院生) 障害児教育、医療社会学)
水津 幸恵氏(三重大学 幼児教育・保育)
西林 佳人氏(関西大学大学院生 児童養護施設)

【指定討論者】

元森 絵里子氏(明治学院大学 子ども社会学・歴史社会学)

【企画趣旨】

本学会は、「子ども」に着目したテーマセッション、紀要特集等の企画を積み重ねてきた。それらを概観すれば、近年、「子ども」という対象、及びその対象を理解するためのアプローチが多様化し、相互での対話が求められていると整理することができる。

28号の紀要特集「子ども社会研究における〈子ども〉理解のいま」の巻頭言でも、「〈子ども〉理解の多様な動向とそこから浮かび上がる現代的課題の共有、そして〈子ども〉理解への多様なアプローチ間での対話」(多賀、2022、7頁)を促すことが、特集の目的だと記された。

他方、本学会は、設立以降「学際性」を理念としてきた。「学際性」については、29号の紀要特集「会員調査からみる学会の「学際性」の来し方行く末」に詳しい。そこでは、子ども社会の多様性を理解する機運が高まっている今、問われるべきは「子どもの多様性にアプローチするわれわれ(研究者、実践者など)の視点であり、その視点が多様化し、共有困難であるかを自覚すること」(片山、2023、20頁)だという。

対象もアプローチも多様化するなか、我々にはどのような対話が可能なのだろうか。30周年を迎える節目の年に、本学会でこれまで蓄積された知見を基盤とし、次代を担う若手会員と共にブレイクスルーを探りたい。

(担当委員:坪井 瞳・西本 佳代)

ラウンドテーブル I

2024年6月30日(日)15時25分～17時45分

百二十年館B1階 12008教室

テーマ

幼児・児童の仲間と繋がる力 —言語・非言語的コミュニケーションの分析から—

1) コーディネーター:

岩田 美保(千葉大学)

2) 司会者:

広瀬 由紀(共立女子大学)

3) 提案者:

秋國 郁(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)

翁川 千里(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)

広瀬 由紀(共立女子大学)

岩田 美保(千葉大学)

4) 討論者:

岩田 恵子(玉川大学)

内容

幼児・児童の仲間と繋がる力について、幼児期の観察から得られた、仲間間で発せられるオノマトペや感情語を含むやりとりや、配慮を要する子どもを含むやりとり、さらに児童期の他者を配慮した繋がりに関わる事例やデータをふまえて多角的に検討する場としたい。

ラウンドテーブルⅡ

2024年6月30日(日)15時25分～17時45分
百二十年館B1階 12009教室

テーマ

性教育のこれから： 包括的性教育とは

1) コーディネーター:

山田 富秋(松山大学)

2) 司会者:

臼杵 百合子(日本保健医療大学)

3) 提案者:

森居 あかね(群馬県教育委員会)

茂木 慎太郎(心の教育・性教育・人間教育を考える会)

及川 育美(心の教育・性教育・人間教育を考える会)

内容

性教育について、ラウンドテーブルを4回実施。その結果として性教育冊子を制作、小・中・高・大学で教材として使用され、その反響から「これからの性教育」について、特に包括的性教育の実施について、教育関係者、保護者等で協議検討する。

子ども学を
研究するとはどういうことか。

〈子ども学〉論集

石黒万里子・青木研作・近藤清華 編著



子ども学について研究するための多角的な視点やさまざまなアプローチに触れ、自身の問題関心と向き合うための示唆を得ることをねらいとして構成された論文集。教育社会学、心理学、教育学、さまざまな研究分野からの子ども学研究。

A5判 ● 160頁 / 定価2200円

子どものうつと問題行動・不登校の関連

「うつ」という子どものSOSと学校ができる支援

周防美智子 著



暴力行為、いじめ、非行などの問題行動、不登校の要因について、メンタルヘルスの課題となる「うつの視点」から検証し、先行研究や小・中学校への大規模調査の結果等を元に考察を重ね、教育現場での支援を探索する。

A5判 ● 136頁 / 定価3300円

教育の基礎と展開 第三版

豊かな教育・保育のつながりをめざして

高野良子・武内清 編著



幼・保・小連携時代を見すえた新しい教育学テキスト。保育士養成・教職課程用の教育原理等のテキストとして最適の一冊。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭をめざす人々へ。

A5判 ● 200頁 / 定価2310円

学歴の専有と意味

投資・身体化・文化圏

黄順姫 著



学歴を投資のみならず、身体化した学校文化圏としてとらえ、個人が学歴を取得し、専有することの意味を問う。戦時期から現代までの学歴資本に対する包括的研究。同窓会や部活動での人的つながりがもたらす機能の意味とは。

四六判 ● 288頁 / 定価2750円

児童養護施設の生活環境のダイナミクス

家庭で暮らせない子どもの育ちと職員の実践

山口季音 著

都市部施設でのフィールドワークから、さまざまな問題の背景にある子どもの仲間文化や職員の支援の課題とともに、困難のなかで、子どもや職員が施設の生活環境をどのように形成しているのかを描きだす。

四六判 ● 256頁 / 定価2750円



批判的思考と道徳性を育む教室

「論争問題」がひらく共生への対話

ネル、ノディングス・ローリー、ブルックス 著

山辺恵理子 監訳 / 木下慎・田中智輝・村松灯 訳

——権威、宗教、人種、貧困、正義、ジェンダー、資本主義/社会主義……答えの出ない「論争問題」を授業でどう扱い、どう子どもたちとともに考えていけばよいのか。対話が紡ぐ、共生への道。

A5判 ● 312頁 / 定価2970円



動物園と水族館の教育

SDGs・ポストコロナ社会における現在地

朝岡幸彦 編

子どもへの教育、環境教育をその機能の一つとしてもつ動物園・水族館の理念や活動について、多彩な執筆者が論じる。独自の子どもたちへの教育的価値と新たな可能性を提言。

A5判 ● 176頁 / 定価2090円



ダイバーシティ時代の教育の原理 第二版

多様性と新たなつながりの地平へ

藤田由美子・谷田川ルミ 編著

現代の多様化した教育問題を考えるにあたり必要不可欠である、「ジェンダー」や「ダイバーシティ」の視点から編まれた、「教育原理」の学びを深めるテキスト。最新の教育状況を盛り込んだ第二版。

A5判 ● 232頁 / 定価2420円



子ども家庭支援の心理学

保護者とともに子どもを支えるための心理学

中山智哉・加藤孝士 編著 A5判 ● 定価2420円 200頁

障がいのある子どもの保育・教育の実践

中山智哉・濱田尚志・末成妙子 編著

A5判 ● 定価2420円 216頁

子どもの放課後支援の社会学

鈴木瞬 著

A5判 ● 定価6600円 296頁

発達障害における教師の専門性

角南なおみ 著

A5判 ● 定価4290円 288頁

子ども・若者の居場所と人間形成



子ども・若者の居場所と人間形成

—Well-being な環境デザインへ

萩原建次郎著

A5・168頁・1980円

生産性や機能性を過度に重視した合理主義＝新自由主義に圧されて人への信頼と人との寛容を喪失した環境で育った子ども・若者に生の回復とその居場所作りから人と人との共同世界を創造することの重要性を提言、実践する。

デンマークの多様性教育



デンマークの多様性教育

市川桂著

A5・192頁・3520円

北欧デンマークの「多様性を認め育てる教育」は他者との多様な対話を通じ、考えを深め、単一解答に留まらない複合的な課題に取り組ませる教育である。デンマークが子どもたちの多様な生き方を担保する学力やその評価方法を緻密な現地調査から解明した新進気鋭の労作。



公正で質の高い教育に向けたICT活用

卯月由佳・露口健司・藤原文雄編著

A5・256頁・2970円

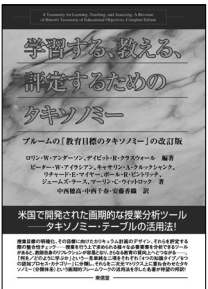
2019年のGIGAスクール構想によりICTを用いた教育が全国に普及した。その全国調査による実態や自治体と学校ごとの社会経済的要因による差異や問題も浮き彫りになった。

学習する、教える、評定するためのタキノミー

L・W・アンダーソン、D・R・クラスウォール編著 中西穂高他訳

A5・480頁・6490円

米国で開発された画期的な授業分析ツール「タキノミー・テーブル」活用法の待望の邦訳！授業で様々な要素を分析できるツールとして「何を／どのように学ぶか」を知識タイプ／認知プロセスに分類し、教育の質向上を促す画期的名著。



インサイドアウト思考

創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ 【学びと成長の講話シリーズ4】
溝上慎一著 46・192頁・1650円

正解はなくとも自分の言葉で考え表現する、自己を起点とした問いの思索「インサイドアウト思考」を提案し、その今日の重要性を包括的に述べ、その思考を身体化するための具体的な学習法を分かりやすく解説。

幸福と訳すな！ウェルビーイング論

【学びと成長の講話シリーズ5】
自身のライフ構築を目指して
溝上慎一著 46・192頁・1650円

個人化が進み、決められたライフコースでなく、自由に選択できる中でウェルビーイング＝自身のよりよいライフの構築とは何を指すのか。その概念を哲学・心理学・歴史変遷から整理し、実際の地域創生事業の例から検証する。



福田誠治著
リテラシーの葛藤—デジタル時代の新しい学び
A5・一六八頁・一九八〇円

福田誠治著
思考の世界は概念が支える
A5・二六七頁・二七五〇円

福田誠治著
オンラインリテラシー—時代と読解
A5・二六八頁・一九八〇円

笹野恵理子・学校音楽文化研究会編著
学校音楽文化論
A5・二六八頁・四九五〇円

高田麻美著
近代日本の教育博物館—モデル館と地域の関係史
A5・二五八頁・五二八〇円

共生社会の大学教育
A5・二五八頁・五二八〇円

山地弘起編著
ドイツ現代史とシュタイナー学校の闘い
A5・二五八頁・五二八〇円

遠藤孝夫著
米国のシカゴの市民性教育
A5・三六〇頁・四一八〇円

久保園梓著
オープン・エデュケーションの本流
A5・三二二頁・四七三〇円

橋高佳恵著
思考の世界は概念が支える
A5・二六七頁・二七五〇円

世界の論争問題教育

トマス・ミスコ編著 渡部竜也他訳
A5・420頁・5720円

論争問題は正／不正の二項だけではなく、政治・社会・宗教等様々な理由によって議論自体が許されない中で各国の論争問題の教育で、いかに「中立性」「客観性」を担保するか、先生の問かけ方や議論の誘導等、様々な各国の授業実践を事例として分析した問題作。



教育学へのいざない(改訂版)

鈴木和正著 A5・224頁・2860円

これまで教育を受けてきた学生に改めて「教育学とは何か」と問う。現実社会の中で生きていくことは様々な分野の知識や技術を身に着ける必要があり、それが教育の役割だ。その文化をまとって生きることになる教師と学生のあり方を問いかける。



東信堂

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
HP <http://www.toshindo-pub.com>
☎ 03-3818-5521 ☎ 03-3818-5514
✉ toshindo_onlineorder1985@gmail.com
✉ tk203444@fsinet.or.jp (代表)

* 博論書籍化、教科書等の出版相談は代表メールまで！

多様な視点から子どもを論じる好評学術誌。第12号発刊！



子ども学 第12号 2024

編集：白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所「子ども学」編集委員会 発売：萌文書林

B5判 228頁 1980円 978-4-89347-402-5

- 巻頭特集 子ども・子ども学トピックス 2024-----汐見稔幸
- 特集1 子どもと教育格差-----ト田真一郎／寺町晋哉／前馬優策
- 特集2 子どもの権利-----浜谷直人／岩崎美智子
- 特集3 医療的ケア児-----網塚貴介・大瀧 潮・奥寺さおり／二宮祐子／田中真衣

レッジョ・エミリアの教育は、諸外国にいかにか受けとめられたのか

レッジョ・インスピレーション

—驚きと発見、対話と思索の教育のために—

太田素子・小玉亮子 編著
浅井幸子・北田佳子・黒田友紀・小林美帆子・柗瑞希子 著

B5判カラー口絵付 200頁（予定） 予価2860円 978-4-89347-428-5

本書の構成（仮題）

- 第1部 なぜレッジョ・インスピレーションなのか
- 第2部 スウェーデンのプロジェクト
- 第3部 レッジョ・インスピレーションの多様性

◆◆ 近刊案内・好評既刊 ◆◆

何に困ってるの？ なぜ困ってるの？

子どもの運動の苦手さと

感覚の敏感さ

—環境調整と遊びで強みを伸ばそう！—

星山麻木・伊東祐恵 著

A4変型判 176頁 予価2200円 978-4-89347-406-3

身体表現 ってどんなことやるの？

感じて楽しむ身体表現

—保育者のための15のアイデア—

佐藤みどり・上野奈初美 編著

A5版 128頁 2090円 978-4-89347-416-2

子どもの人との関わりを学ぶ保育内容・人間関係のテキスト

保育内容 人間関係

—子どもの人との関わりと保育実践を学ぶ—

藪中征代・近内愛子・玉瀬友美 編著

B5判 224頁 1980円 978-4-89347-410-0

英語スキル向上と教授法・指導法の基礎知識を身につけよう

小学校英語の練習帳

—授業づくりに役立つスキルとアイデア—

宮田 学 編集・稲葉みどり 著

B5判2色刷 138頁 2200円 978-4-89347-407-0

社会的養護の制度や支援の実際が図解でつかめる！

図解で学ぶ保育

社会的養護Ⅰ〈第2版〉

原田句哉・杉山宗尚 編著

A5判2色刷 184頁 2200円 978-4-89347-411-7

書き込み式の演習を掲載した社会的養護Ⅱのテキスト

図解で学ぶ保育

社会的養護Ⅱ〈第2版〉

杉山宗尚・原田句哉 編著

B5判2色刷 136頁 2200円 978-4-89347-412-4



株式会社

HOUBUNSHORIN

萌文書林

2024年春 出版案内

※表示価格は税込定価

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-15-11 TEL 03-3943-0576 FAX 03-3943-0567

保育における 子どもの遊び

動画で学ぶ

「遊び込む」ための保育者の援助のポイント

- 高橋健介=著
- 定価 2,750円(税込) ●B5判・216頁 ●2024年1月発行

年齢・場面ごとに12園 26 事例の保育実践を動画や写真とともに紹介し、子どもの主体的・探求的な学びの基盤を育むための保育者のかかわり方を考える一冊。保育の質の向上や、保育者の新たな学びにつながる取組みとして注目される「オンライン公開保育」についても触れた。



試し読みはこちら



ISBN978-4-8058-8828-5

学びが広がる・深まる

園内研修で もっと豊かな園づくり

- 秋田喜代美、小田 豊=編著
- 上田敏文、門田理世、鈴木正敏、中坪史典、野口隆子、箕輪潤子、椋田善之、森 暢子、淀川裕美=著
- 定価 3,300円(税込) ●B5判・384頁 ●2023年3月発行

保育者が学び続け育ち合う場としての園内研修と保育者の学びの質、園でのリーダーシップに焦点を当て、園内研修を360度学び尽くす一冊。研修の進め方、面白くするための工夫、園を超えたネットワークづくりなど、数多くの園での事例・保育者の声も多数収載し、解説した。



試し読みはこちら



ISBN978-4-8058-8804-9



中央法規
Chuohoki Publishing Co., Ltd.

〒110-0016 東京都台東区台東 3-29-1
<https://www.chuohoki.co.jp/>

TEL. 03-6387-3196 (代表)

Facebookで最新情報を発信します!
中央法規出版 保育・教育分野



子ども若者の権利と政策 第1巻

子ども若者の権利と こども基本法

◎2970円

末富芳 編著 末富芳、秋田喜代美、宮本みち子 監修

子どもの幸せや権利を尊重する社会を実現するため。現状と課題を整理し、未来に向けての効果的展開を考える上での土台を提供する。



子ども若者の権利と政策 第4巻

若者の権利と若者政策

◎2970円

宮本みち子 編著 末富芳、秋田喜代美、宮本みち子 監修

困難な子ども期を送った若者の状態は改善されずに、支援の手が届かないことも多い。若者の権利保障のために目指すものとは。



日本の児童相談所

子ども家庭支援の現在・過去・未来

川松亮、久保樹里、菅野道英、田崎みどり、田中哲、長田淳子、中村みどり、浜田真樹 編著 ◎2860円

本書は、児童相談所を多角的に理解する。虐待への対応に加え、児童相談所の歴史、これからの展望についての知見を盛り込む。



児童養護施設

鹿深の家の「ふつう」の子育て

人が育つために大切なこと

綱島庸祐、川畑隆 編 鹿深の家(代表 春田真樹) 著 ◎1980円

養育者自身が「弱みを抱える一人の生身の人間」としてあり続けること——。そのありのままの姿を、事例を通じて豊かに描き出す。



ルポ 宗教と子ども

見過ごされてきた児童虐待

◎2200円

毎日新聞取材班 編

家族と宗教のはざまで見過ごされてきた「宗教二世」問題を読み解く。個々の苦悩を丁寧に描きながら、公的機関の対応も検証したルポ。



ペアレント・ネイション

親と保育者だけに

子育てを押しつけない社会のつくり方

◎1980円

ダナ・サスキンド、リディア・デンワース 著 掛札逸美 訳

親と保育者みんなにできる、赤ちゃんの脳のつくり方から、子どもと保護者にやさしい社会のデザインへ。



社会関係資本

現代社会の人脈・信頼・コミュニティ

ジョン・フィールド 著 佐藤智子、西塚孝平、松本奈々子 訳

矢野裕俊 解説

◎2640円

人々の関係性に着目して社会の格差問題に接近する「社会関係資本」概念。この概念の全体像を描き出す入門書。



社会情動的スキルの 国際比較

教科の学びを超える力

(第1回OECD社会情動的スキル調査(SSES)報告書)

経済協力開発機構(OECD) 編著 矢倉美登里、松尾恵子 訳

◎3960円

社会情動的スキルと社会経済的背景、心理的ウェルビーイング、創造性と好奇心、学校への帰属意識などの関連を考察する。



明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
<https://www.akashi.co.jp/>

*図書目録送呈 *価格税込

TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174

子どもの文化ライブラリー よりよく生きる 四六判 各定価2200円

児童文学と教育の〈間〉

加藤理著 VOL.1

児童文学作家古田足日の作品は、教育問題や教育内容など教育をテーマに据えており、教育児童文学といえる。本書は、作品の背景となった当時のいじめや不登校、学力等の教育問題を丁寧に掘り起こし、古田が作品を通して展開した教育論や教育理念を解き明かす。

センス・オブ・ワンダーと

VOL.2

いのちのレッスン

鵜野祐介著

アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソンの名著『センス・オブ・ワンダー』を読み解き、さらに自然との共存やいのちのあり方を見つめてきた先人たちの智慧を紹介する。

震災・コロナ 子どもの遊びと

VOL.3

遊び空間

仙台・冒険広場の記録

加藤理・根本暁生・三浦忠士共著

仙台の「冒険あそび場」は独自のな子どもの遊び空間を提供しているが、東日本大震災、そしてコロナ禍という大きな試練を創意と実践によって乗り越えようと努めた。本書はその貴重な活動記録から、本来の子どもの遊びと遊び空間の意義について考える。

生命の「わ」から

VOL.4

児童文化の未来へ

村瀬学著

生命のありよう、そして宇宙のありようの根源に目を凝らすことから語り起こされる児童文化。大きな射程から児童文化の未来を問い直し、感動を呼んだ最終講義。いじめ問題、文学、思想など幅広い分野の著作をもつ児童文化研究者の慧眼が光る一冊。

「児童文化」の誕生と展開

大正自由教育時代の子どもの生活と文化 別冊複製製2「小鳥の家」「赤い実」

加藤理著 菊判上製函入/864頁/定価13200円

本書は近世後期から、明治、大正、昭和初期と、埋もれていた当時の資料を発掘し、壮大なスケールで多岐にわたって詳細に論証、近代の「児童文化」の理念と実態を明らかにした画期的な力作。別冊に、幻の雑誌といわれる「小鳥の家」後藤隆編輯発行、「赤い実」金野細雨編輯発行を収録。第39回日本児童文学学会賞受賞。

港の人

鎌倉市由比ガ浜3-1-49 TEL248-0014
電話 0467-60-1374 ファックス 0467-60-1375
www.minatorohito.jp 定価税込

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究

「子どもの生活と学び」研究プロジェクト

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所は、「子どもの生活と学び研究プロジェクト」の一環として、2015年度から約2万組の小学1年生～高校3年生の親子を対象にした「子どもの生活と学びに関する親子調査」を実施しています。本調査は、同じ対象を継続的に追跡するパネル・データであるとともに、親子ペアで回答してもらうダイアド・データでもあるという、他に類のない特徴を有しています。

調査結果

2015年度から23年度までの調査結果をHPで公開



書籍 勁草書房より刊行

パネル調査にみる子どもの成長 学びの変化・コロナ禍の影響



ローデータ公開中

2015年度から21年度に取得した複数のデータを、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターで公開中。同センターに申請することで、研究や教育目的で利用できます。



公開中のデータ

- 子どもの生活と学びに関する親子調査
 - ・小1～3の保護者、小4～高3の子どもと保護者
 - ・日々の生活、学習、人間関係・価値観を調査
- 高校生活と進路に関する調査
 - ・高3の子ども（卒業時の3月に実施）
 - ・進路選択の振り返りと卒業後の進路を調査
- 語彙力調査・読解力調査
 - ・小3・6・中3・高3（語彙力）、中3・高3（読解力）
 - ・IRTにより一元化された尺度で調査

ベネッセ教育総合研究所 <https://berd.benesse.jp/>

日本子ども社会学会 第30回大会実行委員会

実行委員： 石黒 万里子(東京成徳大学) 担当:学会事務局
請川 滋大(日本女子大学) ○委員長
加藤 直子(立正大学) 担当:企画シンポジウム等
境 愛一郎(共立女子大学) 担当:ポスター発表等
高橋 健介(東洋大学) 担当:口頭発表等
田中 謙(日本大学) 担当:参加・発表申込等

大会運営スタッフ:

朝倉香也代	浅見里咲	荒川真由美	飯村愛
岩佐尚子	大槻麻里	織壁佐和子	金子百合子
亀之園菜穂子	鈴木夏子	徳田多佳子	富田貴代
並木真理子	野村節子	細倉益子	松原乃理子
森末一代	吉田恭子		

公開シンポジウム受付:

一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会

日本子ども社会学会 第30回大会 プログラム

発行日 2024年6月19日

編集・発行 日本子ども社会学会第30回大会実行委員会

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 日本女子大学 請川滋大研究室内